

## 宮城県名取市

### ■調査項目

東日本大震災時における障害者への対応について

#### ・調査対応者

名取市健康福祉部次長兼社会福祉課長 保科 真一

名取市健康福祉部社会福祉課福祉係 山形 英樹

#### ・調査期日

平成28年7月12日(火) 13時30分～15時00分

#### ・市の概要

人口： 73,995人(平成25年7月31日現在)

世帯数： 27,480世帯

宮城県名取市は政令指定都市仙台市の南東に位置し、仙台空港の所在都市として、JR東北本線、国道4号、東北縦貫自動車道、仙台東部道路などが走り、西側一帯は広大な山並みが続き、また郊外は豊かな生産緑地が広がり企業の進出も活発で、広域仙台都市圏の副拠点都市として活気ある市となっている。

#### ・調査目的

平成23年3月11日未曾有の大震災により、市域の3割14,000棟が浸水し、死者900名以上、未だ300名が行方不明と云う大きな被害が出た中、障害者対応として災害時の要援護者の受け入れ状況及び施設の要援護者受け入れ等の協力に関する協定について調査を行った。

#### ・調査内容

##### 【名取市からの説明】

○名取市では、既に平成21年4月1日に災害時における要援護者の受入等の協力に関する協定を市内6法人(1法人が障害者関係施設)と締結している。平成27年4月1日からは、6法人と個別に契約をしている。

東日本大震災では、この協定に基づいて各法人に被害の状況など違いはあるが要援護者の受入等について協力を要請した。障害者の費用については、障害者自立支援法の短期入所(シヨーステイ)の報酬単価で算定することとなり、光熱水費等は、当該法人の負担とすることで了承となった。自己負担額は原則1割負担であるが、受入者は全員上限月額0円であり、負担額は発生しなかった。市としては、平成22年度3月補正により2,200,000円予算措置。また、23年度4月補正により6,215,000円予算措置した。(科目：災害救助費 要援護受入措置費)

○震災により、東日本大震災聴覚障害者救援中央本部が設置され、宮城県障害

福祉課が窓口となり他県から来た手話通訳者に支援をいただいたが、国の支援打ち切りのため6月30日までとなった。（延長依頼をしたが叶わなかった）

○平成23年3月12日から、人工透析者又は呼吸器機能障害者に限り所定の（市内3ヶ所）ガソリンスタンドで給油できる緊急車両証明書を発行。（200まで）また、3月19日から障害者手帳を交付されている方に対しても、証明書を発行した。（期間：3月12日から4月3日まで）

○震災による障害者手帳所持者の死亡者数は、手帳所持者数3,069名中身体障害者68名、知的障害者4名、精神障害者4名の計76名であった。亡くなった方の多くが介護対象者で肢体不自由者であった。

### 【質疑応答】

○震災時の各施設への通報連絡は、どのような状態であったか？

通報は防災無線で行うこととしていたが、電源が落ち使用ができなかった。消防団などが周回するのみであった。

○要援護者はまず一般の避難所へ行くと思うが、精神的にはどうか？

障害者以外の方でも、パニック者は多数いた。

○障害者死亡者の76名は主にどこで被災したのか？

主に老人ホーム入所の手帳所持者（肢体不自由者）であった。障害者施設では、送迎時間と重なり全員無事であった。

○震災後の新制度は？

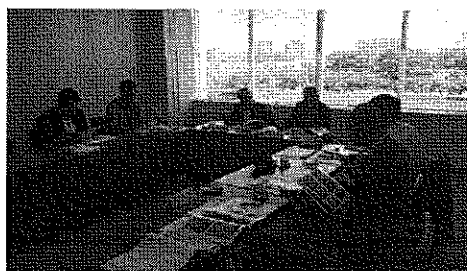
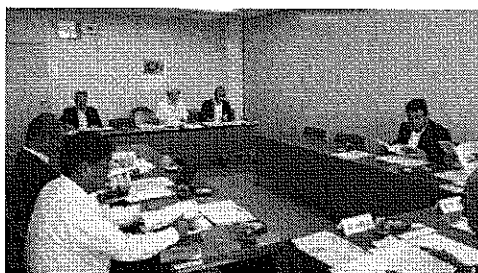
防災ラジオを開始（地域のFM局）。名取市の情報を一般市民へ提供、有償で1,000円の負担があるが、国の補助があり通常1万円のところ1,000円で行っている。

### 【呉市での展開の可能性】

呉市は、沿岸地域のみならず急傾斜地が多くあり、災害時の要援護者の周知連絡体制や受け入れ場所の確保が課題となっている。

平成24年度、聴覚障害者の当事者団体とその支援団体で構成する「呉地域聴覚障害者防災連絡協議会」と呉市の消防局警防課危機管理室及び障害福祉課が共同で作成した聴覚障害者のための防災マニュアルと聴覚障害者災害時支援マニュアルなどの有効な活用が望まれる。

また、災害時に要援護者を保護することを想定し、市内福祉施設などとの受け入れに関する協定を締結しておく必要がある。



（視察の様子：名取市役所）

## 愛知県岡崎市

### ■調査項目

#### 道の駅「藤川宿」整備事業について

#### ・調査対応者

岡崎市経済振興部農務課園芸畜産班長 酒井 啓滋

岡崎市経済振興部農務課園芸畜産班 倉田 知彦

道の駅「藤川宿」駅長 中根 忍

#### ・調査期日

平成28年7月13日(水) 13時00分～14時30分

#### ・市の概要

人口： 380,764人(平成27年3月31日現在)

世帯数： 152,849世帯

愛知県岡崎市は、県の中央部に位置し、古くから城下町、宿場町として栄えた。JR東海道本線、名鉄名古屋本線、国道1,248,473号、新東名高速道路に接し、戦前から繊維工業を中心に発展。近年では、自動車関係の輸送機器関連産業が盛んである。平成28年(2016年)7月1日に市制施行100周年を迎えた。

#### ・調査目的

平成18年度に策定した「藤川地区まちづくり構想」に基づき地域の自然や歴史、文化との調和を図りつつ、東部地域交流センターや愛知県内の国道1号では初となる道の駅藤川宿地域振興施設などの交流拠点の整備、周辺基盤施設整備を国や地域住民等と連携しながら進め、交流と賑わいの生活拠点づくり推進について調査を行った。

#### ・調査内容

##### 【岡崎市からの説明】

○市政100周年を記念した「田んぼアート」について現地にて説明。

○藤川地区整備事業について

1. 整備メニュー
2. 対象区域 約3.3ha
3. 事業費 約3.6億円  
(事業費は、まちづくり交付金による国の支援を活用)

○道の駅藤川宿施設概要について

愛知県内の国道1号で初、道の駅としては15番目に設置され、平成24年12月9日開駅した。工事費1.8億円で国が1.1億円、市が7億円支出した。

1. 面積 東側：駐車場(国)約8,500㎡、地域振興施設(市)約2,000㎡  
西側：駐車場(市)約3,100㎡

2. 地域振興施設（敷地面積：約2,000㎡，延床面積：約1,300㎡）

- ・農林産物等直売施設（280㎡）
- ・特産品・日用品等売店（142㎡）
- ・軽食コーナー
- ・きらり岡崎コーナー
- ・イベントスペース
- ・その他（環境に配慮した設備の導入，防災拠点機能）

3. 道の駅藤川宿の運営

指定管理者制度導入（平成24年12月）

指定管理者：岡崎パブリックサービス・JAあいち三河共同事業体

【質疑応答】

○道の駅を要望した理由は？

地元から交流センターを作り，また学校が近くにあり，高校生の踏切事故等を防止し，地域の安全導線を確保したいとの要望による。

また，国道1号線があり1日当たりの交通量5万台であり，交通安全上24時間利用可能な休憩施設が必要な状況であった。

○藤川地区の一体開発とは？

交流センター，道の駅，鉄道跨線橋，踏切の整備などである。

○指定管理者に指定管理料は支出しているか？

売り上げ収入で運営しているため，指定管理料は支出していないが，修繕費は市が支出している。

○指定管理期間は？

5年である。

【呉市での展開の可能性】

呉市は，国道31号，185号，375号があり，交通安全上24時間利用可能な休憩施設の整備の必要性の観点，また，呉市の特産品販売所の確保の点から今後の参考としたい。

また，指定管理者制度を導入しているが，指定管理料での収支補てんは講じていない，指定管理者の更新期の状況を考慮しつつ，呉市の公の施設においても参考とするべきである。



（視察の様子：道の駅「藤川宿」）

## 京都府京都市

### ■調査項目

京都市学校歴史博物館及び京都鉄道博物館（施設見学）

#### ・調査対応者

なし

#### ・調査期日

京都市学校歴史博物館

平成28年7月14日（木） 9時00分～10時30分

京都鉄道博物館

平成28年7月14日（木） 11時00分～12時30分

#### ・施設の概要

○京都市学校歴史博物館

京都では、明治2年（1869年）に、日本で最初に番組小学校とよばれる学区制の小学校が64校つくられた。

京都市学校歴史博物館は、番組小学校に関する資料をはじめ、京都市の学校に遺された教科書や教材・教具などの教育資料、また卒業生などが学校に寄贈した数々の美術工芸品を収集・保存して展示している。

○京都鉄道博物館

平成28年4月29日、鉄道の歴史を通して日本の近代化のあゆみを体感する「京都鉄道博物館」が、京都の地に開業した。博物館活動の核である資料の収集・保存を体系的に行い、調査・研究に努め、感動とひらめきを生み出す展示・教育普及活動に力を注ぐとともに、鉄道文化遺産の保存や継承を支援する役割も担っている。

#### ・調査目的

呉市には、呉の歴史や科学技術、平和の大切さを伝え多くの来館者数を誇る海事歴史科学館（大和ミュージアム）があるが、年齢層に応じたキャプション手法及び収集資料の展示方法などについて調査を行った。

#### ・調査内容

○京都市学校歴史博物館

京都市の学校に遺された歴史資料（教科書・文献資料・教材・教具等）、卒業生などが学校に寄贈した美術工芸品（絵画・書跡・陶磁器・染織等）を収集・保存し、展示を行っている施設である。

平成10（1998）年10月、元京都市立開智小学校（明治2年6月・下京第11番組小学校として開校）の施設を改修整備して開設。展示室・収蔵庫の整備、

エレベーターの新設など博物館としての機能を整える一方、外観などについては最小限の改修にとどめている。

#### ○京都鉄道博物館

博物館として、学校教育、周辺施設など、地域との連携を図り、地域の活性化に寄与するとともに、広く皆様に受け入れられる「憩いの場」となるとともに、「見る、さわる、体験する」ことで誰もが楽しむことができる「学びの場」となることを目指している。博物館としての機能を実現するために、以下の活動を行っている。

##### 【資料収集・整理保管について】

鉄道を中心とした分野において歴史的・学術的に価値のある資料を継続的に収集し、その活用と継承を両立するべく、最適な方法を用いて資料の整理と保管を行う。

##### 【調査研究について】

資料の調査研究によってその価値を明確にし、学術的・教育的に役立てられるよう資料情報を活用する。

##### 【展示について】

実物資料を中心に収蔵資料をテーマごとにわかりやすく展示する。また、実物車両に触れる体験展示を構築して、来館者の鉄道に対する理解を促進する。

##### 【教育普及】

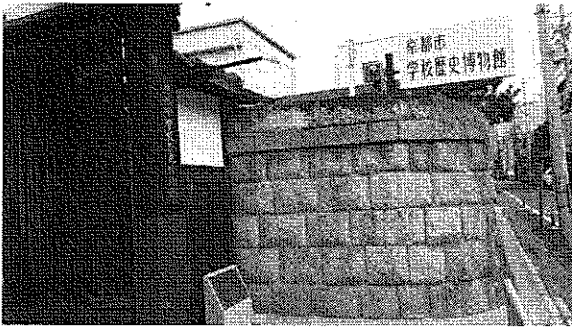
学校教育や生涯学習の場において実物資料や資料情報を効果的に活用することにより、社会教育施設としての役割を果たす。また、地域連携を積極的に行い、幅広い分野での学びの場を創出する。

#### 【質疑応答】

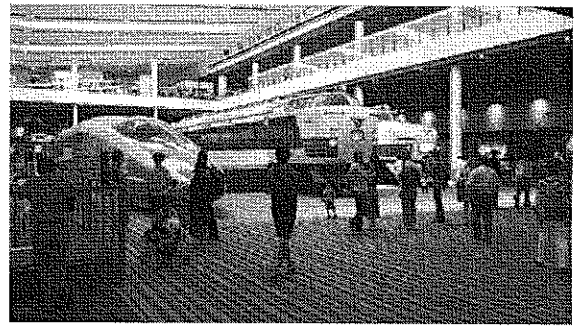
なし

#### 【呉市での展開の可能性】

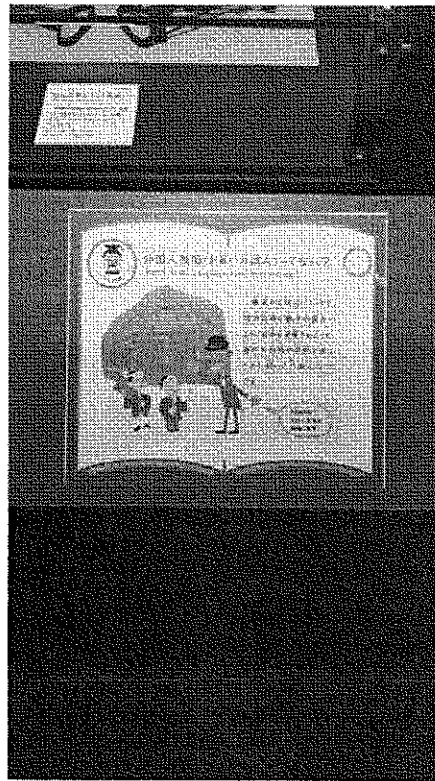
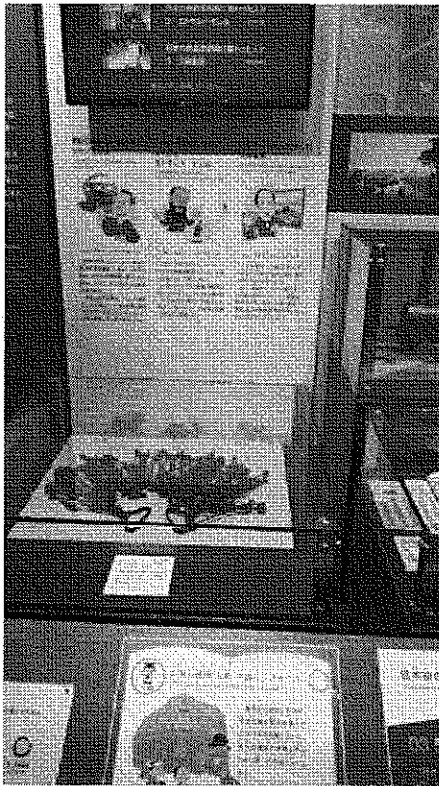
呉市には、呉の歴史や科学技術、平和の大切さを伝え多くの来館者数を誇る海事歴史科学館（大和ミュージアム）があるが、毎年、教育旅行として約2万の小中高など学生が来館している。展示室にキャプションがあるが、小学生などには少々難しい内容となっている。当該施設においては小学生にも容易に内容が伝えられるよう工夫がされており、大和ミュージアムでも大いに参考とすべきである。また、大和ミュージアムにも何点かの大型資料が収集保管されているが、大型資料の展示手法など今後の展示の参考とすべき点である。



(京都市学校歴史博物館)



(京都鉄道博物館：大型実物展示)



(京都鉄道博物館：キャプション)